

2026年(令和8年)

JGA 全国通訳案内士新人研修会

Daily Report

～JGA Facebook に毎日アップされた研修の様子を再編集しました～

■ 関西地区 ■

第一日・2/28(土) 講義＋京都駅ビルウォーキング実習



JGA の関西新人研修は、とにかくよく歩きますが、第一日目は、講義から始まります。関係法令や業務知識、日本の旅行事情、食事の対応、お客様を案内する上での注意点などをお伝えする事で、ガイドの仕事の「外国語を使ってお客様をご案内する」部分にのみ意識が向きがちな新人さん達に、旅程管理や安全にご案内することの重要性など、より広義でのガイドの役割や責任をしっかりと認識して頂きたいとの思いからです。もっと（講義会場 京都テルサ）も、今年の新人研修の参加者は、前年までに合格し、既に通訳案内士として仕事をされている方達が多く、皆さんご自身の業務体験を思い出しながら講義をお聞きになられているのか、講師の説明に熱心に耳を傾け、頷きながら受講されている姿が印象的でした。

そして、講義終了後は、イヤホンガイドを使って、大ベテランの講師からの実践的かつきめ細やかな説明を聞きながら、京都駅ビルウォーキング実習です。明日からのバス実習の集合場所、八条口バス乗降場を確認してから、観光地としても魅力的な京都駅ビルに入ります。八条口側東端から混雑する中央南北自由通路を通り抜け、烏丸口側へ。大階段のイルミネーションや屋上大空広場「葉っぱいてらす」からの眺望や、スカイウェイからの北側の眺めも確認し、ホテルグランヴィア側の東口広場の駅ピアノやレゴブロックの京都駅まで隈なく歩き回り、長くも充実した一日を終了しました。



第二日・3/1(日) 京都バス実習 + 東山祇園ウォーキング

今年は暦が3月に入っのバス実習、心なしか太陽の日差しも柔らかく、この日より後に訪れる寒の戻り手前で比較的過ごしやすい研修日和でした。朝は冷え込む中、前日にテキストを手にし、座学を受けた受講生の皆さんがそれぞれの思いで集合、バス実習がスタートしました。午前中は、龍安寺、金閣寺、二条城と世界遺産3カ所を回ります。バスが走り出すころには、「新幹線が通る京都駅」を観光に取り入れる工夫など、講師は効果的なタイミングで、実際の場面では言い尽くせないほどの情報、目に見える物のバックグラウンドを惜しげなく渡していきます。まず開門時間の早い龍安寺へ。石庭の静けさの中しばし心を落ち着かせた後



は、人気の金閣寺。今ではきんきらきんの金閣寺も修復前はみずぼらしく、それでも人は訪れたのだと講師は語ります。混雑の中のガイドのポジション取り、時間との相談でどこを割愛？同じく二条城でも、他のお客様に迷惑がかからないポジション取り、ツアーをうまく回すための選択肢を考えます。

さて、お昼休みの降車場所は御池通りの京都市役所前。降りる前も後もその直前直後まで、通りの名の由来、通りにあるホテルや旅館のことなど情報のシャワー。バスを止めやすく、受講生にも昼食場所を探すにも、情報収集するにもいい降車場所です。休憩時間を活用して、錦市場へ走られた方もいらっしゃいました。集中する時間を過ごした午前の流れを一旦緩めて、少しリラックスした休憩後は再びバスに乗り込んで始まります。車窓より平安神宮を回り東山サイドを南向きに下り、まずは三十三間堂へ。圧巻ながらご案内にも一工夫が必要な仏像群ですが、無敵の守護神の尊像もカテゴリーズするとなるほどこのように見えるのかと。荘厳な空間での濃密な時間を共有後も、研修はまだ続きます。いよいよ移動時間にも細心の注意を払う清水寺です。シーズン前とあって、スムーズな移動の好条件で清水坂観光駐車場に到着。降車後は、ここから最終地点までウォーキングです。



慢性的な混雑で、最近はいろいろな行程の工夫も見られる中、時期的にもご時世的にも今回は参道にいつもより隙間がありました。なんといっても清水の舞台がメイン。だけれど、お客様の関心によっては拝観なしもあり得るほど、魅力いっぱいの参道です。いろいろな観光のケースを念頭に置きながら歩きはじめます。団体での再集合場所に触れながら舞台まで移動。舞台から後の動線を選択肢も一つではありません。それぞれの場所でのバリアフリー動線を見ましたが、清水寺仁王門まで、そして更に本堂まではかなりの上り坂、受講生の関心も大きくここでも余念がありません。混雑を避けてどこからの眺めをご紹介しますか。中心部から近く自然を愛でることができるといふ人気の理由に納得の景観を実感して再び参道へ。

京都の美はまだまだ一行を待ち受けます。産寧坂、二年坂、八坂の塔、祇園等。ツアーでご紹介したい場所が続きます。景観が美しい小道を通りながら祇園へ。外国人観光客の関心の的、芸妓さんの文化も外せないテーマです。境界の今昔、今話題の映画「国宝」のエピソードを絡めてのお話を聞きながら祇園を通り抜け、終了地点まで踏破。日没近くあたりも少し暗くなるころに終了。ぎっしり詰まった1日でした。



第三日・3/2(月) バス実習 伏見稲荷・大阪



3日目は、まずは京都でも有数の人気観光地、伏見稲荷大社から。バスの乗降場から交通量多く魅力的なお土産屋さんも多い通りを、京阪電車とJRの踏切を渡って境内に到着するまで10分強。迷子を出さず無事辿り着くのは、緊張感を伴う行程です。歩くのに時間がかかるお客様がいたら？ バスが乗降場に入れなかった場合は？ 限られた時間内で、どこまでご案内する？ 自由時間をとる場合、集合場所はどこがわかりやすい？ 実際の現場で慌てることがないように、色々なケースを想定しながら実習で学びます。

京都から大阪、大阪から関西の移動では、ロングドライブの話題について。バスから見える景色（任天堂本社のようなランドマークだけでなく、ゴルフ練習場の？高速道路上のネットなど）はもちろん、普段時間がなくてできないテーマ（農業、宗教、経済、様々な統計データなど）をじっくり話したり、その後の行程（この日であれば大阪）についてキーワード（例：商業の街、食い倒れの街）で説明するチャンス。お客様には、行先の地名をただ言われても意味はなく、なぜそこに行くのか、何を観に行くのか、その土地の魅力をお客様にわかりやすく伝えるのもガイドの大切な役目。



2つ目の降車地は大阪城公園。105ヘクタールもの広大な敷地を持つ公園には観光バス、専用車、JRや地下鉄など様々な交通手段によって幾つものルートがあり、この日も降車場所と乗車場所が異なるルートを体験。

天守閣を各自で確認した後、昨年4月にオープンした豊臣石垣館にも全員で入館しました。



道頓堀では日本橋のバス乗降場から道頓堀の名物、カニや牛、はたまたたこやき、寿司、餃子などの大看板を楽しみながら、大阪のアイコン、戎橋のグリコサインへ。千日前通りから法善寺横丁にも立ち寄り、最後は千日前道具屋筋の入口まで移動し、昼食時間を兼ねたフリータイムに。皆さん思い思いに大阪ならではのランチを楽しまれたり、気になる場所をチェックしてから、カニの下に再集合。

道頓堀の後は、一路関西空港へ。高速道路がビルの間を縫うように走るザ・大阪の景色も束の間、大阪湾の景色の中からお客様にご紹介したい建物、目を引く建物を車窓からチェックしつつ、空港送迎の際の「送」と「迎」で必要な事柄の違い、注意すべき対応など、講師から業務に必要な説明が続き、みんな真剣にメモを取りながら聞いていました。

関西空港では、施設の見学とともに、出発階でセンディングの要領と注意点、到着階では大事なミーティングの要領と注意事項を確認しました。受講生の皆さんからもたくさん質問が出ていました。連絡する鉄道駅ではJRパスの扱いもおさらいです。関西空港からの移動時には恒例のマイク体験。1人1分という短い時間でお客様に端的に伝えたいことを話す難しさを、皆さん実感されたのではないのでしょうか。



市内に戻り、もう1箇所、梅田スカイビル空中庭園を訪問しました。行きは、シースルーエレベーター・エスカレーターを使って展望台へ。大阪の北の中心「ウメダ」からの景色を展望しました。空中庭園からの帰りは、高所恐怖症や車椅子のお客様など、シースルーエレベーター・エスカレータールートを使えない場合を想定して、オフィスビルのエレベータールートも使わせて頂きました。

最終目的地の新大阪駅では、バス乗降場から新幹線改札までの動線をチェック。南改札を前に団券の場合の手順や注意点を確認して、長距離移動の長く濃い一日が終了となりました。

第四日・3/3(火) 奈良バス実習 + 名刺交換会・講義・修了式



バス実習のトリは奈良。京都から小一時間という近さの移動中、実習が実りあるものとなるよう、往路のバス内ではマップを広げてのオリエンテーション。そして両親ともに奈良出身で、幼い頃ならまちにあった祖父母の家によく行っていたという講師から、奈良らしいエピソードや、最近の観光施設や便利なショッピングセンターなども紹介されている内に、バスターミナルに到着。バスターミナル内の観光案内所で講師おススメの「奈良公園ガイドブック」というリーフレットを入手してウォーキング開始。

まだ9時前という朝早い時間のお陰か、小雨降る天気のお陰か、他の観光客が少なく貸切状態に近い恵まれた状況で、大仏様とご対面。「目から鼻に抜けて賢くなる、と言われている」という講師説明の穴くぐりも、他に並ぶ人もいない中、受講生2名が挑戦。2人とも更に賢くなれたでしょうか。



大仏殿の後は、鐘楼を經由して二月堂へ。今回はちょうど修二会の期間中ということで、松明を準備している職人さんや、休憩中の練行衆のお姿を拝見したりと、752年から一度も途切れることなく続く「お水取り」の伝統の一端を感じることもできました。



二月堂の後も、手向山八幡宮から若草山の前を經由して、春日大社へ。若宮や本殿、その回廊などを全員で回ってから、駐車場での再集合まで短いフリータイム。駐車場で待っていてくれたバスに乗り込み、興福寺駐車場までバス移動。興福寺駐車場からは、最終目的地であるならまちの観光案内所「鹿の舟」まで道中の見どころ、観光客に人気のお店などを細かくチェックしながら進みます。「鹿の舟」で講師おススメの「鹿の舟」作成のならまちマップその他資料を各自入手してから、フリータイムに。

京都への帰路は再び一人1分と区切ったのマイク体験。無事終えて、ほぼ予定時刻に研修会場の「京都テルサ」へ到着しました。

研修会場に戻ってからは、まずはQ&A。そして、旅行会社のガイドアサイン担当者様より特別講義で今後のインバウンド・ツーリズムの予測や、求められるガイド像など、みんな真剣に拝聴しました。



そして、修了式ではみんな笑顔で修了証を受け取り、4日間の研修を無事終了しました。

その後に、旅行会社・人材派遣会社等9社との名刺交換会。短い時間ではありますが、企業の皆様も受講生もみんな熱心に話をしている姿が眩しかったです。

訪日観光は、既に日本経済を支える大切な産業となっています。今後とも、来日されるお客様にも、受け入れる地元の方にもポジティブで、良い意味で記憶に残る経験となるよう、私達通訳案内士は双方を結ぶ文化の架け橋として、努めていきたいと思います。参加者の皆様のご活躍をお祈りしています！

オプション 3/4(水) ウォーキング嵐山実習

この日のオプション「ウォーキング嵐山実習」は、関西新人研修からの継続参加者に加え、この日だけの参加を希望する JGA 会員・非会員の方達も一緒に行われました。

集合場所の嵯峨嵐山駅改札には、みなさんお手洗いや済ませ準備万端で集合。講師の研修概要説明、改札階通路の窓越し、階下に駅が見えるトロッコ列車の解説から始まります。駅前広場にある大きな嵐山の地図の前でも、改めて講師からの具体的なルート説明後にスタート。今日はひたすら歩きます。観光バスで訪れる際によく利用する駐車場を通り、まずは渡月橋を渡って中の島へ。講師が語る十三詣りが有名な法輪寺のエピソードやその展望台からの眺めが良いことなど、ユーモアたっぷりのお話に皆さん耳を傾けながらも列をなして進みます。阪急嵐山駅、その途上にあるお食事処、星のやさんのシャトルポート乗り場、モンキーパーク入り口などなどをまわり一休み。お手洗いやあるあたりからは対岸が良く見え、建物をひとつひとつ確認しながら眺めます。

公共交通機関での効率のいいアクセスを考えると、各鉄道の駅の場所は頭に入れておきたいところ。移動の選択肢が増えると、アイデアも広がります。京福電鉄嵐山駅構内にある「着物フォレスト」は一つの名所になっていて、嵐山観光に色を添えています。



嵐山はなぜ桜の名所になったのか...など、長い歴史の中で形成された今日の景色。史実を語るモニュメントもそこここにあります。有名な竹林、大河内山荘、亀山公園展望台、天龍寺庭園と午前中はよく訪れられる場所を一通りぐるりと回り終了。天龍寺さんのご配慮で法堂の「龍雲図」特別公開と方丈の旧「龍雲図」特別公開の両方の拝観の機会も頂きました。



再集合後は京都の四つの伝統的建造物群保護地区の一つ嵯峨鳥居本へ移動。京都バスで愛宕寺前で降りるとすぐ前が愛宕念仏寺。外国人観光客に人気のこちらのお寺は閉門日のため外からの説明。門越しにも羅漢像が見えています。以前は無休だったこのお寺も、定休日を設けたり、今春の拝観料倍増と少しずつの状況の変化を研修を通じても感じられます。愛宕念仏寺を起点に再びウォーキングスタート。行く道沿いには、町並み保存館や伝統

的な外観のお食事処、由緒あるお寺が続きます。自分なりのプラスαを準備するヒントになりうるそれぞれのお寺の特徴を聞きながら、午前とは反対側から竹林へアクセス。午前と午後の研修内容が交差する地点から今度は駅方向へ向かい一筆書きが完成です。天気予報は曇りでも、青空が見えているのに小雨が落ちるといってはっきりしないお天気の日でしたが、京都を知り尽くす講師ならではの嵐山オプション研修が、今年も内容をぎっしり詰めて無事に終了、2026年関西地区の新人研修全日程を終了しました。



今年の修了生の皆様の中にも、この春から観光ガイドとしてスタートされる方、今までよりもエリアを広げられる方、FITから団体ツアーへ、またその逆へと仕事の範囲を広げられる方、様々な方がいらっしゃると思います。京都で、大阪で、奈良で、または日本のどこかのガイドの仕事の現場でお会いできる日を楽しみにしています。皆さま、ごきげんよう！